

# 非アルツハイマー型認知症の新規治療薬についての研究

代表機関/代表者：東京都医学総合研究所 長谷川成人  
研究期間：2024年度～2028年度

## 研究開発目的

アルツハイマー病以外の認知症を対象とし、神経変性の原因となる異常タンパク質に作用して、その線維形成、細胞間伝播を抑制することにより、病気の進行を抑える病態修飾薬を創出することを目的とする。

## 取り組み

患者脳由来のタウ線維やαシヌクレイン線維、または合成タンパク質線維等をシードとする試験管、細胞モデルを用いて、凝集を抑制する治療薬候補、改変タンパク質を探索し、細胞モデルやマウスモデルを用いて、治療薬候補の有効性や安全性を評価する。

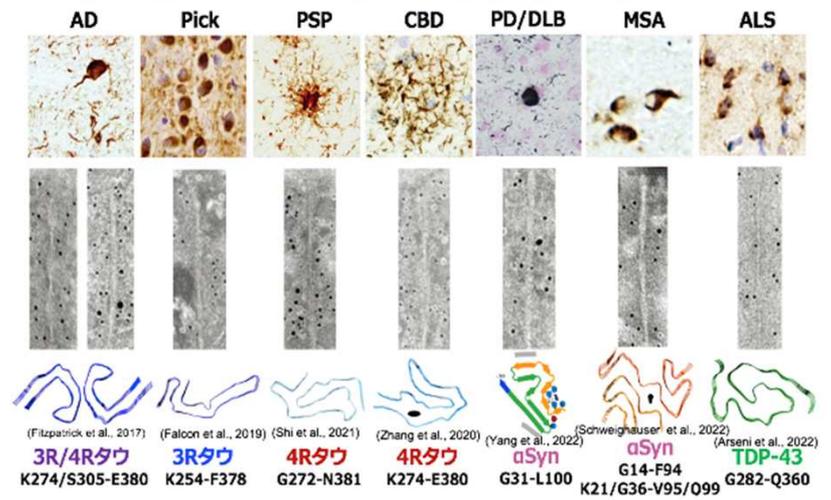
## 成果

- ・異常タンパク質の構造に基づく疾患分類の確立
- ・患者脳病態を反映した細胞、マウスモデルの構築

## 今後の展開

異常タンパク質に作用する新規治療薬候補を創出する。

主な神経変性疾患の特徴病変、病理を構成するタンパク質線維と折りたたみ構造



異常型タンパク質のプリオン様増幅と改変体による増幅阻害薬の模式図

